

## 令和2年11月大井町教育委員会定例会 会議録

日 時 令和2年11月16日（月）13時48分～15時10分  
場 所 大井町役場 3階 301会議室  
出席委員 夏莉一壽教育長、石井孝典教育長職務代理者、牧野誠一郎委員、  
中條政夫委員、小島茂子委員  
出席職員 石井浩二参事兼教育総務課長、大森勉生涯学習課長、  
橋本多恵子学校給食センター所長、山崎良徳社会教育主事  
【書記】山崎好之教育総務課副課長  
傍 聴 人 なし  
会議内容

- 1 開会 夏莉教育長から開会の宣言をする。
- 2 前会議録の承認 令和2年10月定例会の会議録が承認され、中條委員と小島委員が会議録に署名する。

### 3 教育長の報告

- (1) 教育長の報告 資料により夏莉教育長が説明する。

(要旨)

冒頭、総合教育会議に教育委員全員の出席があったことへのお礼を述べてから、10月定例会以降で出席した主な会議の報告をする。

足柄上地区教育長会議では、開催前に、令和3年度県中体連総合体育大会が県西地区で開催されることを受け、県中体連役員の表敬訪問があったこと、足柄ロータリークラブから1市5町の小中学校に消毒液が寄付されるに伴う贈呈式があったこと、教職員管理職組合からの要望書の提出があったことの報告をする。

協議内容は、今年度実施した教科書採択事務が主であったこと、5町から足柄上郡教育会での小学校の教育研究会事業の検討と予算措置及び県町村研究会事業についてがあったことを報告する。

校長園長会議では、市町教育長会議の内容を伝達したこと、各園校からは、コロナ禍での園外保育・校外学習や各種行事への取組について情報交換があったことを報告する。このほかに、小学校からは不登校児童への対応や、中学校からはLGBTの配慮から制服の男女指定をなくしたこと、幼稚園からは園児の髪型などの身なりについて保護者啓発のために、「おしゃれと身だしなみ」という通知を出したことが報告された。

満3歳児保育利用希望者面接はコロナ禍の影響で実施が遅れてしまったが、無事実施できたこと、講師を迎えての校内研究会が再開されたことも報告する。

最後に、幼稚園・学校あり方検討会議は幼稚園・学校の現状報告をする中で、委員から意見等があったことを報告する。

(2) 各課・センターからの報告

- |                 |                         |
|-----------------|-------------------------|
| ①教育総務課関係事業報告    | 資料により石井参事兼教育総務課長が説明する。  |
| ②生涯学習課関係事業報告    | 資料により大森生涯学習課長が説明する。     |
| ③学校給食センター関係事業報告 | 資料により橋本学校給食センター所長が説明する。 |

(質疑なし)

#### 4 議 事

(1) 議決事項

○議案第 20 号 大井町学校運営協議会規則について

資料により石井参事兼教育総務課長が説明する。

(要旨)

「地域とともにある学校づくり」に向け、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律 162 号）」に基づき、令和 3 年度からコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を設置するための提案をした。

学校運営協議会は、学校を取り巻く課題が複雑化・困難化していることを踏まえ、これらの課題を解決し、子どもたちの生きる力を育むために、教職員のみならず地域住民、保護者等の適切な支援を得ながら学校運営の改善を行っていく必要があることから、改正地教行法が施行された。

本協議会の趣旨は、学校と保護者及び地域住民等との間の信頼関係を深め、一体となって学校運営の改善や児童生徒の健全育成に取り組むことであり、学校運営に必要な支援に関する協議を行う。校長は、教育目標及び学校運営計画、教育課程の編成等について、協議会の承認を得るとする。委員は、児童生徒の保護者、地域住民、学校運営に資する活動を行う者、校長・教職員などとし、そのうちから教育委員会が 1 校当たり 10 名以内で任命する。

(石井教育長職務代理者)

委員は、PTA 役員の人が重なることがありますか。

(石井参事兼教育総務課長)

重複することもあります。

(中條委員)

この学校運営協議会が機能していけば、学校・地域にとってプラスになっていくと思います。しかし、この制度により、学校現場が忙しくならないようにしていただきたい。また、学校と地域を結ぶ地域学校協働活動推進委員がキーマンになってくると感じます。

(2) 協議事項

○大井町地域学校協働活動推進員設置要綱（案）について  
山崎社会教育主事が資料により説明する。

(要旨)

コミュニティ・スクールと一体的推進を図るにあたって地域学校協働推進委員の設置が必要である。コミュニティ・スクールが学校と地域住民との力を合わせて学校運営に取り組むものであるとともに、地域学校協働活動は学校と地域が相互にパートナーとして行うものとなっている。コミュニティ・スクールを支えるものの一つとして設置していきたい。

この要綱案について、立ち上げに向けて保護者、地域、学校職員へ周知していく必要があると考えている。

(中條委員)

地域学校協働推進員は学校運営協議会には出席できるのかどうか教えてください。

(石井参事兼教育総務課長)

「大井町学校運営協議会規則第8条（3）対象学校の運営に資する活動を行う者」に該当しますので、出席できます。

○大井町立幼稚園・学校のあり方について

山崎教育総務課副課長が資料により説明する。

(要旨)

令和2年10月28日に実施した大井町立幼稚園・学校のあり方検討委員会（第1回）の内容について報告をする。

会議はテーマを絞らずにフリートークで進行したので様々な意見が出て、方向性が定まらなかったが、今回の会議の結果を踏まえて、教育委員の意見や感想、次回の第2回会議の検討内容について示唆をいただきたい。

(中條委員)

司会を担当しましたが、テーマを絞らない意見交換だったので、整理しきれませんでした。教育委員会として方向性を示すのは難しいとしても、今後の会議では何らかの柱を2つくらい設けて進めることは、深まりとこれからの協議していく上でのベースをどうやってつくっていくかという問題にもかかわってきます。

個人的には、子どもたちの学びの点から考えた適正人数などが一つの柱になると思います。話し合いの柱をどうつくっていくのが課題だと感じました。

(石井教育長職務代理者)

この問題は他市町村でも、状況が困難なところがあったと思います。それらの様子も

聞かせてもらう中で検討していきたいです。学校の統合ありきで話を進めると、住民の意見が届かないところもあるので、時間をかけていい意見を出しながら進めるべき問題だと思います。

(夏苺教育長)

御意見のとおり、他市町の状況も参考としていきたいです。また、集団としての人数として、平成26・27年度に「相和地区の園・学校のあり方検討委員会」があり、その当時は10人程度が各学年に欲しいという話が出ていました。そこを一つのよりどころとして、「小規模特認校制度」も10人を目安として募集しています。ただ、その当時より子どもの数が減少している現状を考えると、それも踏まえながら検討していく必要があると考えます。

(小島委員)

地域の方が交通の不便さを話題にしていたようですが、児童生徒には公用車が迎えに来てくれます。学校も、下校に合わせたバスを富士急行に依頼して、特別に配車してもらう努力をしています。それらの工夫や努力が地域の人には見えていないのかと感じました。

高尾や篠窪に小さい子どもがおらず、だんだん相和の幼稚園や小学校に行く子どもがいなくなり、相和小学校の存続が大変になってくるとは感じます。しかし、地域としては存続してほしいという願いはあると思うので、その兼ね合いが難しいと感じます。

(牧野委員)

地域の人にとっては、相和小学校は大事な学校であり、残してほしいという気持ちは理解できます。しっかり情報交換をする中で進めていってほしいです。

(石井参事兼教育総務課長)

大井町立幼稚園・学校のあり方検討委員会議について傍聴依頼がありましたが、委員から「傍聴を認めることで、発言内容がSNS等で、異なった内容で伝わることを懸念される」との意見を受け、第2回も傍聴は不可とします。

## 5 その他

○人権を考えるつどい・男女共同参画講演会について  
大森生涯学習課長が資料により説明する。

○中学3年生の3月給食の提供について  
橋本学校給食センター所長が資料により説明する。

### ●今後の行事等予定について

資料により石井参事兼教育総務課長から説明する。

6 閉会 夏苜教育長から閉会の宣言をする。